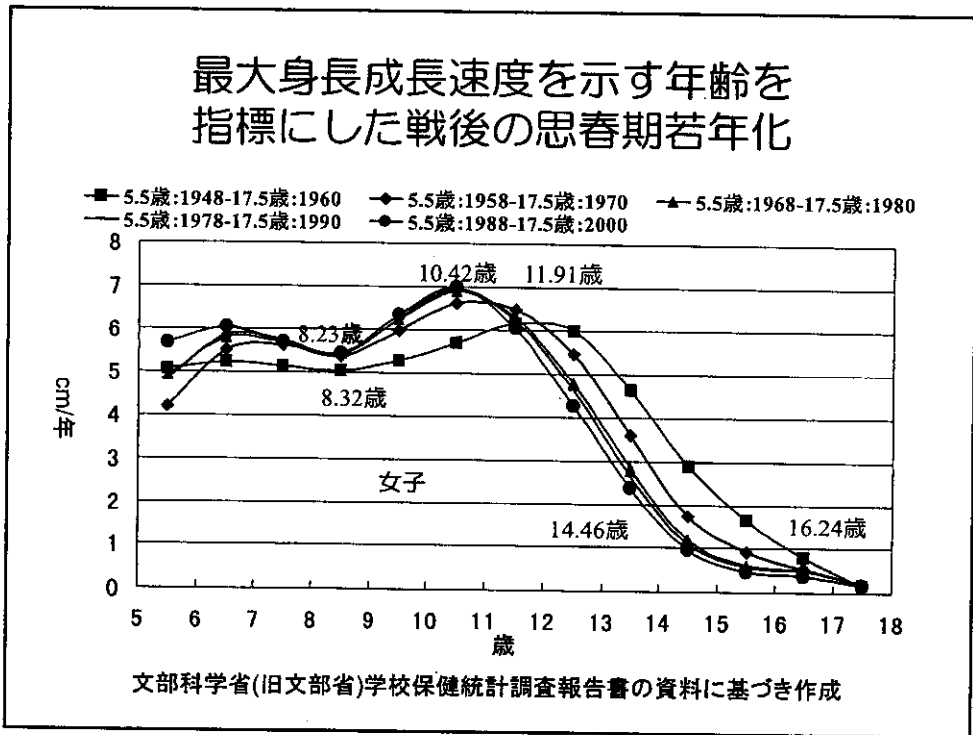
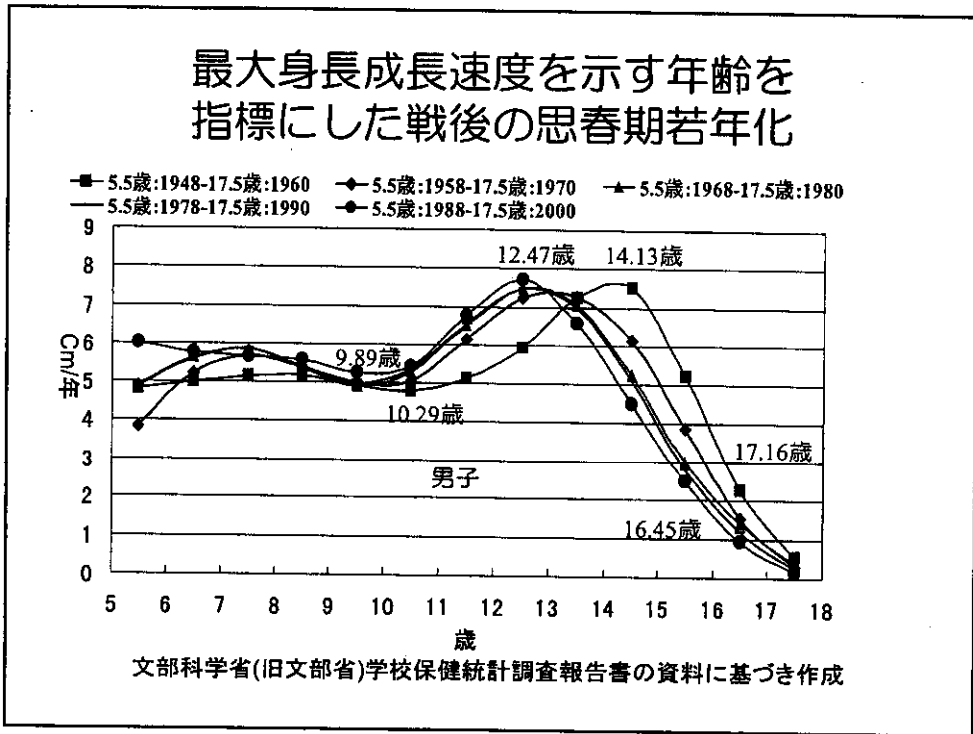
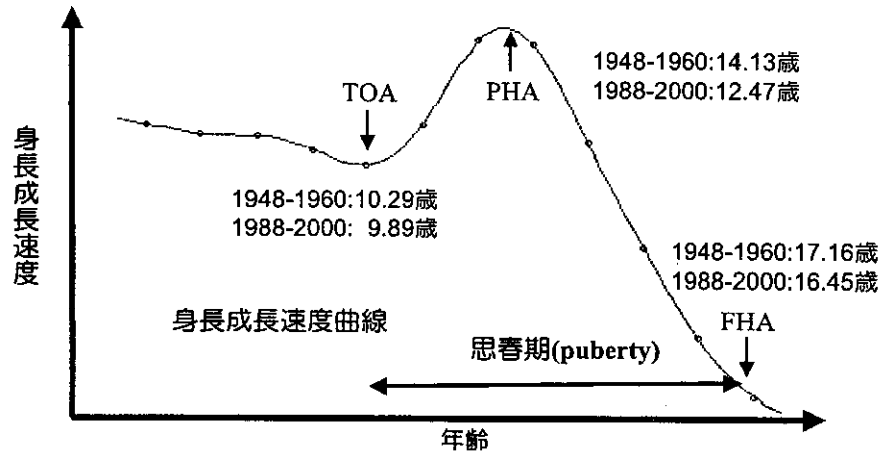


発育・発達をめぐる課題（例）について

○最大身長成長速度と年齢との関係

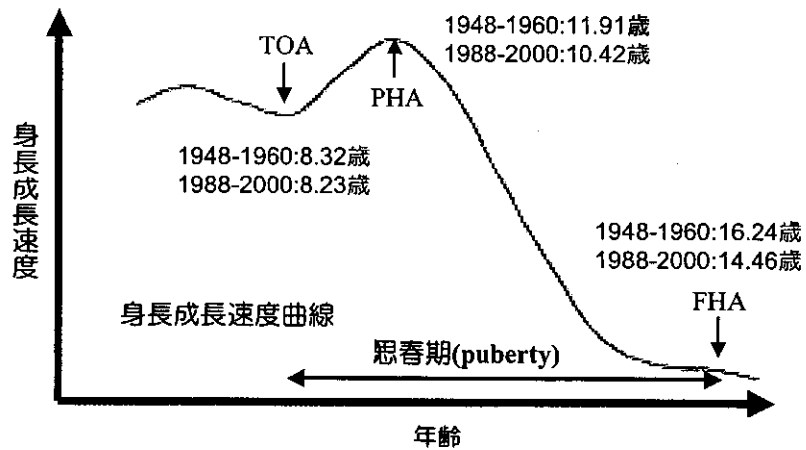


男子(1948年:5.5歳-1960年:17.5歳及び
1988年:5.5歳-2000年:17.5歳)のTOA、PHA、FHA



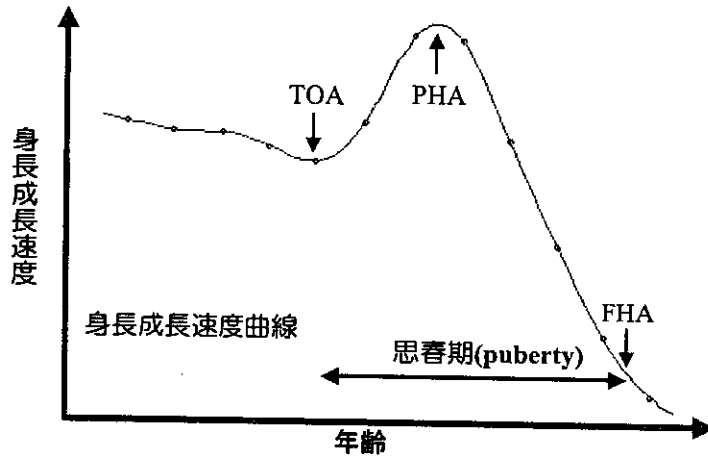
TOA: 思春期成長促進現象発来年齢 PHA: 身長成長速度最大年齢
FHA: 最終身長年齢(身長成長速度が1cm/年になった年齢)

女子(1948年:5.5歳-1960年:17.5歳及び
1988年:5.5歳-2000年:17.5歳)のTOA、PHA、FHA



TOA: 思春期成長促進現象発来年齢 PHA: 身長成長速度最大年齢
FHA: 最終身長年齢(身長成長速度が1cm/年になった年齢)

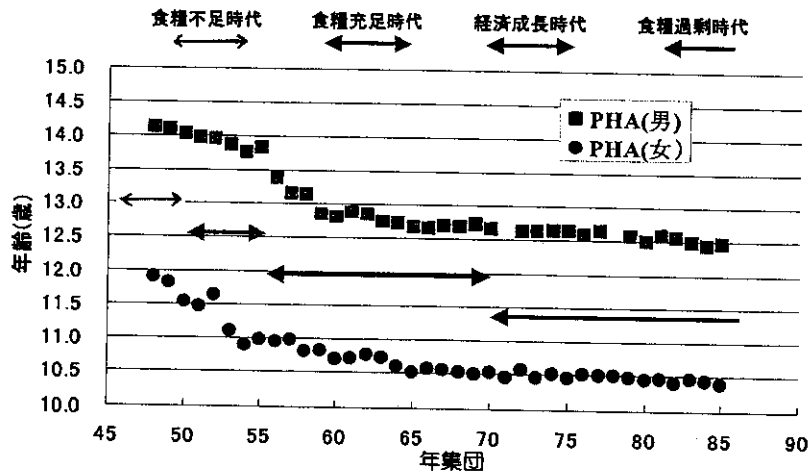
思春期(puberty)の定義



TOA: 思春期成長促進現象発来年齢 PHA: 身長成長速度最大年齢
 FHA: 最終身長年齢(身長成長速度が1cm/年になった年齢)

PHAの推移 (1948年集団~1985年集団)

(PHA: 1年間の身長の伸びが最大を示す年齢)



1948年集団: 1948年に5歳集団であり、以後17歳集団まで縦断的資料を持つもの
 以下同じ(資料: 文部省学校保健統計調査報告書)

○乳幼児の年齢（クラス）と食行動・ライフスタイル・健康・QOLとの関連

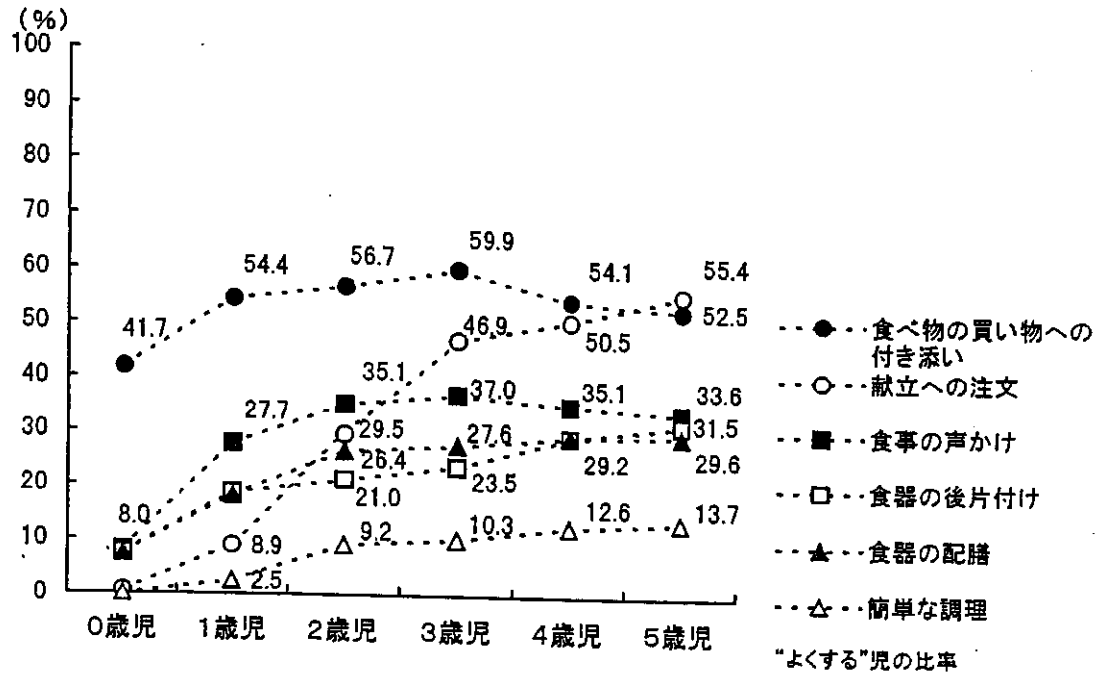
大項目	中項目	小項目	選択肢	全体 (5398)	0歳児ク ラス (175)	1歳児ク ラス (517)	2歳児ク ラス (833)	3歳児ク ラス (1308)	4歳児ク ラス (1337)	5歳児ク ラス (1228)	年齢差
食行動	食べる行動	問3 日常の朝食の摂食状況	ほぼ毎日食べている	86.5	90.3	80.3	79.8	88.2	88.6	89.0	***
		問4 日常の夕食の摂食状況	ほぼ毎日食べている	98.3	97.7	97.7	96.5	98.3	98.9	99.2	***
		問25 咀嚼	よく噛んで食べる	20.0	10.3	15.7	19.7	21.7	22.0	19.5	***
		問27 スプーン・フォークの使用	ほとんどこぼさず食べる	41.7	2.9	12.0	31.3	44.5	50.8	53.9	***
		問28 箸の使用	ほとんどこぼさず食べる	35.8	0.0	2.9	17.6	36.5	47.9	53.3	***
		問20 食事の立席の頻度	あまりない	40.8	27.4	22.1	28.5	36.9	47.3	56.4	***
		問5 朝食での“いただきます”の挨拶	ほとんどする	39.4	20.0	33.1	37.9	39.0	43.0	42.3	***
		問6 朝食での“ごちそうさま”の挨拶	ほとんどする	43.7	18.9	36.0	42.1	44.9	45.8	48.0	***
	問7 夕食での“いただきます”の挨拶	ほとんどする	53.9	24.0	42.9	52.5	56.0	57.4	57.5	***	
	問8 夕食での“ごちそうさま”の挨拶	ほとんどする	56.4	18.9	47.2	53.8	58.7	60.8	60.3	***	
	問23 食べ物への大切感	とても大切に食べる	20.6	15.4	13.9	15.0	18.8	23.9	26.1	***	
	問24 食べ物の組み合わせ	よく組み合わせを考えて食べる	23.5	21.7	19.1	23.3	21.8	25.8	25.2	*	
	問1 調査日の朝食の食事内容	主食・主菜・副菜が揃う	24.2	25.7	24.2	24.2	21.7	24.9	25.7	—	
	問2 調査日の夕食の食事内容	主食・主菜・副菜が揃う	72.8	70.9	69.4	71.8	73.9	73.4	73.5	—	
	問19 食事のテレビ視聴の頻度	あまりない	13.8	20.0	13.5	13.0	15.1	13.2	12.8	—	
	問9 朝食時刻の規則性	ほとんど決まっている	65.2	66.3	63.2	63.6	65.5	67.2	64.3	—	
	問10 夕食時刻の規則性	ほとんど決まっている	54.0	50.9	53.2	54.7	54.9	55.9	51.5	—	
	問11 朝食での共食者	家族全員で	23.3	22.7	25.9	25.5	21.8	23.2	22.5	—	
	問12 夕食での共食者	家族全員で	51.8	46.9	53.8	49.8	52.6	53.2	50.4	—	
	問22 食事の席の固定	ほとんど決まっている	72.6	73.1	68.9	71.2	73.0	73.1	74.2	—	
	問21 食事の姿勢	姿勢良く座っている	31.1	40.6	34.4	31.9	29.6	30.7	29.6	*	
	問17 朝食の食欲の有無	食欲旺盛の方だ	15.6	38.3	21.1	13.2	13.5	14.4	15.1	***	
	問18 夕食の食欲の有無	食欲旺盛の方だ	38.1	66.9	50.7	34.3	33.9	34.3	39.7	***	
	作る行動	問15 献立への注文をする頻度	よくある	41.9	0.6	8.9	29.5	46.9	50.5	55.4	***
問29 食べ物の買い物への付き添い		よくある	55.2	41.7	54.4	56.7	59.9	54.1	52.5	***	
問30 簡単な調理の頻度		よくある	10.4	0.0	2.5	9.2	10.3	12.6	13.7	***	
問31 食器の配膳のお手伝いの頻度		よくある	26.7	7.4	18.0	26.4	27.6	29.2	29.6	***	
問32 食事の声かけの頻度		よくある	33.6	8.0	27.7	35.1	37.0	35.1	33.6	***	
問33 食器の後片付けの頻度		よくある	25.3	7.4	18.6	21.0	23.5	29.1	31.5	***	
食情報を 受発信する行動		問13 食べ物に関する会話の頻度	よくある	38.8	13.1	29.2	40.2	41.6	40.7	40.5	***
		問14 食事の催促をする頻度	よくある	43.8	28.6	33.3	39.4	47.2	46.4	46.7	***
		問16 食事の感想を言う頻度	よくある	47.8	11.4	34.8	45.3	53.0	51.5	50.7	***
スタイル		運動(遊び)	問38 屋外遊びの頻度	よく外で遊ぶ	44.6	29.1	46.2	47.8	43.8	43.5	45.8
	問40 就寝時刻		午後9時頃までに就寝	41.7	53.7	38.7	33.4	39.8	44.2	46.2	***
	休息	問39 就寝時間の規則性	ほとんど決まっている	41.2	45.1	39.3	38.8	41.3	42.5	41.8	—
健康	問41 主観的健康感	非常に健康だ	50.6	34.9	44.9	51.7	51.3	50.4	54.2	***	
	肥満度	普通	91.5	—	89.8	94.1	94.4	91.2	87.5	**	
	問43 排便習慣	毎日排便がある	74.6	95.4	85.1	75.8	74.8	72.2	69.0	***	
	問42 倦怠感	あまりない	75.6	82.3	83.2	79.0	77.0	71.1	72.5	—	
QOL	問34 食事の楽しみ	とても楽しみのようだ	55.9	80.0	65.8	52.7	52.3	55.1	55.4	***	
	問36 表情	いきいきしている	69.8	78.9	81.8	74.5	70.3	66.3	63.4	***	
	問35 活発さ	活発である	62.4	77.1	71.4	68.4	61.1	58.2	58.3	***	
	問37 自立心	やりたがる	54.4	40.6	71.4	62.2	53.6	50.3	49.3	***	
属性	問60 きょうだいの構成	きょうだいあり	75.7	49.1	61.3	67.5	78.2	80.9	82.7	***	
	問62 祖父母との同居	同居	27.1	13.7	24.0	25.9	27.9	28.9	28.5	—	

群間差: χ^2 検定 ***p<0.001 **p<0.01 *p<0.05 —N.S.

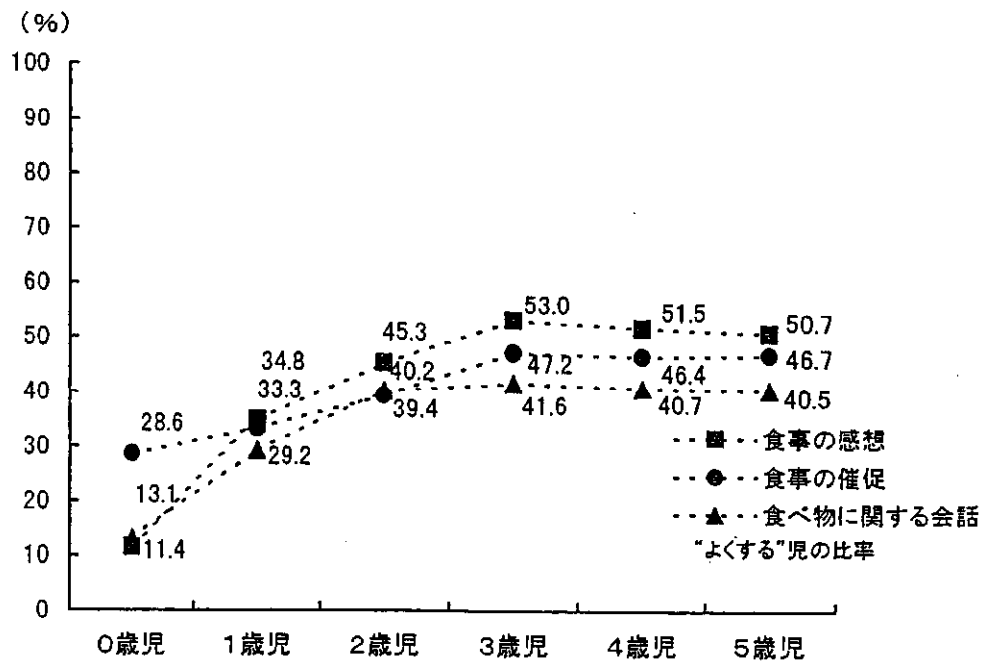
資料: (社)日本栄養士会 子どもの健康づくりと食育の推進・啓発事業委員会

「乳幼児期からの健康づくりと食育推進のための基礎調査報告」(平成11年)

食事をつくる行動

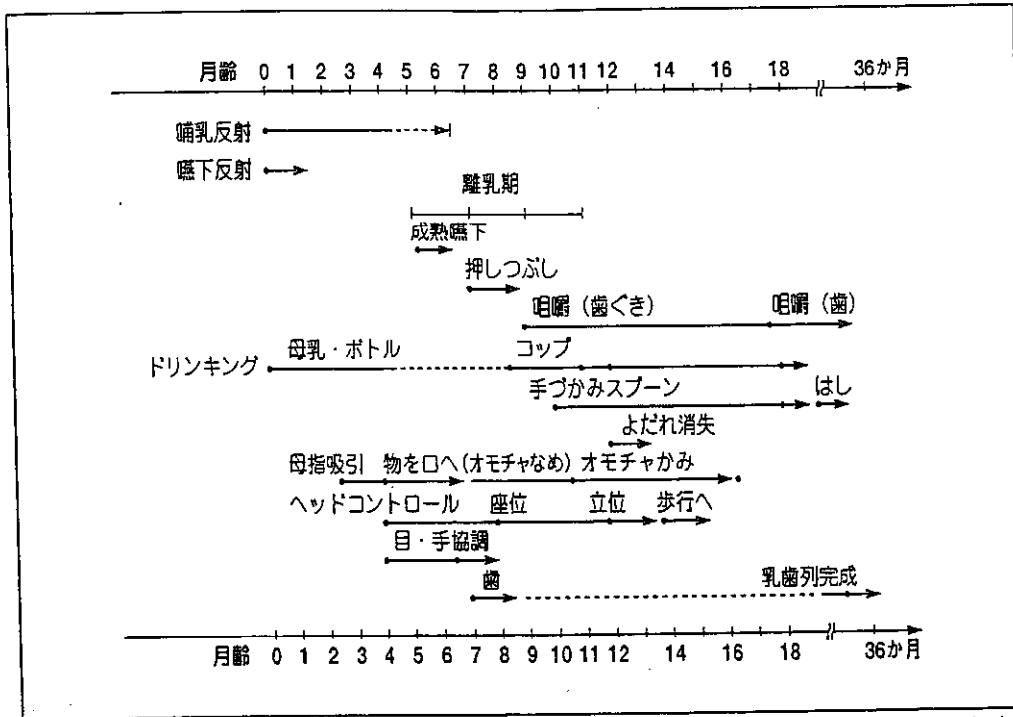


食情報を受発信する行動



資料：(社)日本栄養士会 子どもの健康づくりと食育の推進・啓発事業委員会
「乳幼児期からの健康づくりと食育推進のための基礎調査報告」(平成11年)

○摂食機能の発達の概要



(「食べる機能の障害—その考え方とリハビリテーション (金子芳洋編)」を一部改変)
資料：向井美恵編「乳幼児の摂食指導」((株) 匠歯薬出版, 2000年)

○認知、心理、社会的発達

生涯発達の諸段階

年齢の目安	段階	特徴	ピアジェ (認知発達)	フロイト (心理・性的発達)	エリクソン (心理・社会的危機)
誕生	胎児期 乳児期	受精, 発生 体外胎児期	感覚運動期	口唇期	信頼 対 不信
1	幼児期	愛着形成 運動機能 言語機能 就学前教育	前操作期	肛門期 男根期	自律 対 疑惑 自発性 対 罪悪感
6 12	児童期 青年期	学校教育 思春期	具体的操作期 形式的操作期	潜在期 性器期	勤勉 対 劣等感 同一性 対 役割の拡散
25	成人前期	職業選択 職業生活開始 家庭の形成			親密性 対 孤独感
45	成人後期	育児 職業生活充実 子どもの独立			生殖性 対 自己本位
65	老年期	退職 配偶者, 近親者 友人との死別			完全性 対 絶望

(出所) ジンバルドー (1983) : 鈴木 (1993)

資料：平山諭、鈴木孝男編著「発達心理学の基礎と臨床 第1巻 ライフサイクルからみた発達の基礎」((株) ミネルヴァ書房, 2003年)

ハウィガーストの発達課題

発達段階	発 達 課 題	
乳児期 児童初期 (就学まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行の学習 ・ 固形食を摂取することの学習 ・ 話すことの学習 ・ 排尿・排便の学習 ・ 性差と性別の適切性の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生理的リズムの達成 ・ 物理的実現についての簡単な概念形成 ・ 親ときょうだいに対して情緒的な結合の開始 ・ 善悪の区別の学習
児童中期 (学童期)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の遊戯に必要な技能の学習 ・ 健康などに留意する習慣の養成 ・ 仲間と交わることの学習 ・ 男・女の適切な性役割の採用 ・ 基本的読み・書き・計算の技能の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な概念の発達 ・ 価値・道徳観・良心の発達 ・ 人格の独立性の達成 ・ 民主的な社会的態度の発達
青年期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両性の仲間とのより成熟した付き合いの達成 ・ 身体的変化の承認と効果的な身体の使用 ・ 親からの情緒的独立の達成 ・ 経済的独立のめやすをたてる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚と家庭生活の準備 ・ 概念及び問題解決に必要な技能の発達 ・ 社会的に責任のある行動への努力 ・ 行動を導く倫理体系の発達
成人初期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配偶者の選択 ・ 配偶者との生活の学習 ・ 第1子を家族に加える ・ 育児 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の管理 ・ 就職 ・ 適切な市民としての責任をとる ・ 適切な社会集団の選択
成人中期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人としての社会的・市民的責任の達成 ・ 経済力の確保と維持 ・ 十代の子どもたちの精神的な成長の援助 ・ 余暇の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配偶者と自分それぞれの一人の人間として結びつける ・ 中年期の生理的変化への適応 ・ 高齢者である両親への適応
老年期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体的変化への適応 ・ 退職と収入の変化への適応 ・ 退職後の配偶者との生活の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配偶者の死への適応 ・ 同年代の仲間との親和の形成 ・ 社会的役割の柔軟な受け入れ

資料：濱口佳和・宮下一博編著「子どもの発達と学習」（北樹出版，1997年）